広報 るもい

発行所
留萌市役所
電話（代）270番
編集人
総務課長 寺井利惠
留萌市幸町三丁目
印刷所 金子印刷所
（毎月1回 1日発行

1月中の人口のうごき

世帯数		8.987世帯
総人口		39.644人
	男	19.963人
	女	19.681人

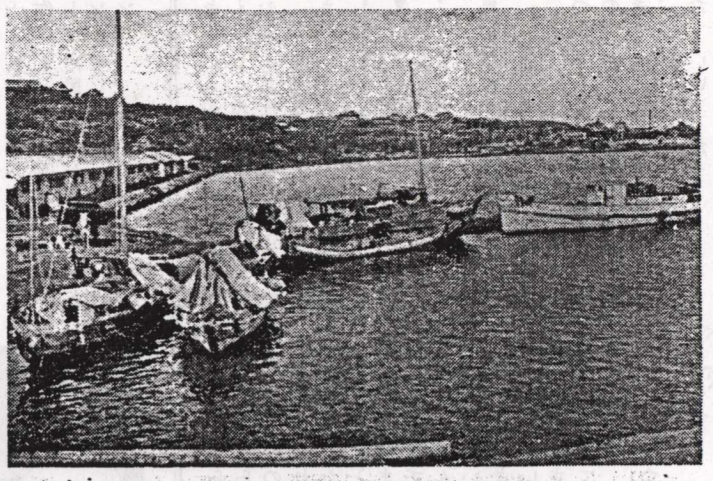
	出生	死亡	転入	転出
男	23人	9人	73人	127人
女	23人	8人	43人	119人
計	46人	17人	116人	246人

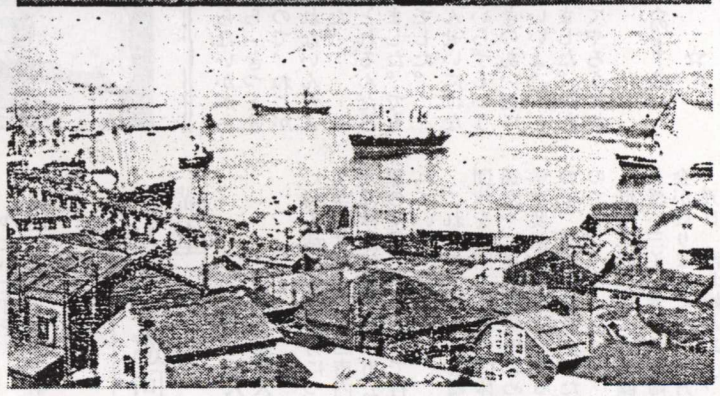
港灣起工・鉄道開通50周年

当時の感激も新たに

……市中心に記念行事計画……

留萌市は本年、港湾と鉄道が建設されてから五十年目と言う記念すべき年を迎えました。このため留萌市ではこれを有意義なものとするため、全市をあげて盛大な記念行事を繰り広げる計画を練つています。





港灣

北海道内でも函館、室蘭釧路、小樽と共に屈指の重要港湾に数えられる留萌港は、工事着手以来五十年目のいま、中部北海道唯一の貿易港として石炭と木材の積出しの貨物船で賑わつています。

明治四十三年、一大構想にのつて着工されてから二十四カ年の歳月と、国費一千十万余円、町費二十余万円の巨費（現在の金額に換算すると相当額になると思われます）を投じ昭和十一年十二月、この工事と平行して進められた鉄道輸送網の完成とあいまつて、大きな期待を集め歴史的な輝やかしい開港をしたのです。

変わりばえのしないアイヌコタン（部落）に過ぎずアイヌ語でルルモッペ（静かな湖水）と呼ばれていた留萌が、今から約二百年前の宝歴年間に、松前の初代村山伝兵衛が藻の漁業請負人として漁場を開いたのに始まり、次いで天明七年（百五十一年前）紀州の六代栖原（すはら）角兵衛が漁場を開いてから、本州の、師達がボツボツ移[illegible]地（いまの北海道）屈指の漁場と言われただけに、魚を追つた人達で開けた港であつたわけ。

その頃の港は今よりも北西よりで、留萌川の元の河口を船溜に使つていたようですが、この地特有の北西の風波に相当悩まされ、明治に入つてから道庁で中部北海道に港を開き開発の基地にしようと同二十四年議会に築港案を提出したが、陽の目を見ず当時の地元民をがつかりさせました。

これに奮起した〃留萌の父〃五十嵐億太郎氏ら地元有志が『留萌築港鉄道期成同盟会』を結成、内務大臣原敬を自船『三省丸』に乗せ招へいするなど内閣や帝国議会に猛烈な運動を展開ついに一大商港の着工が実現したのです。

一時〃ニシンの千石場所〃…汽車の車輪が魚の脂で空回りした留萌港…と浮き名を欲しいまゝにしたが、今では港本来の石炭と木材の積出し港にもどり、更に近い将来には大豆とソ連材の輸入、広大なヒンターランド（港背後地）をかゝえた貿易港としての躍進が約束されています。

昭和二十三年八月に函館博多、坂出、大阪を結ぶ裏日本定期航路、同二十四年五月に東京、清水、名古屋を結ぶ表日本定期航路がそれぞれ開設され、同二十七年には港湾法によつて重要港湾として指定されていますが、このライナー（定航）には三井船舶と大阪商船の船が配船されています。

一方北岸船溜と北岸ローダー（石炭積込機）の二大工事が着々と進められて、躍進留萌港の面目躍如たるものがありますが、ミナト留萌の青写真は年間八十万トンの石炭、五十万石の木材積出しと言うこれまでの実績をもとに、長期十カ年計画（昭和三十三年度―四十二年度）による一大臨海工業港の実現が急がれています。

鉄道

〃汽笛一声……〃と言われたのも今は昔、蒸気機関車が、留萌―深川間を走つてから数えて本年で五十年目。

当時道央（石狩地区）と結ぶ陸上交通網は、留萌川に沿つた原始的な自然の道路を通つて峠下の沢越えするか、増毛から雄冬山道の草をわけて出る道とあつたが、いずれも難路であるため、ほとんどの人は増毛―浜益間の海路を利用していたに過ぎませんでした。

しかし北海道の一大開発計画につて明治三十四年秋に留萌―峠下―石狩沼田―北竜―妹背牛に至る道路が開通、道内の幹線と連絡され札幌、留萌をつなぐ道路が実現されたのに続き、同四十年に留萌―深川間の鉄道線路が起工されました

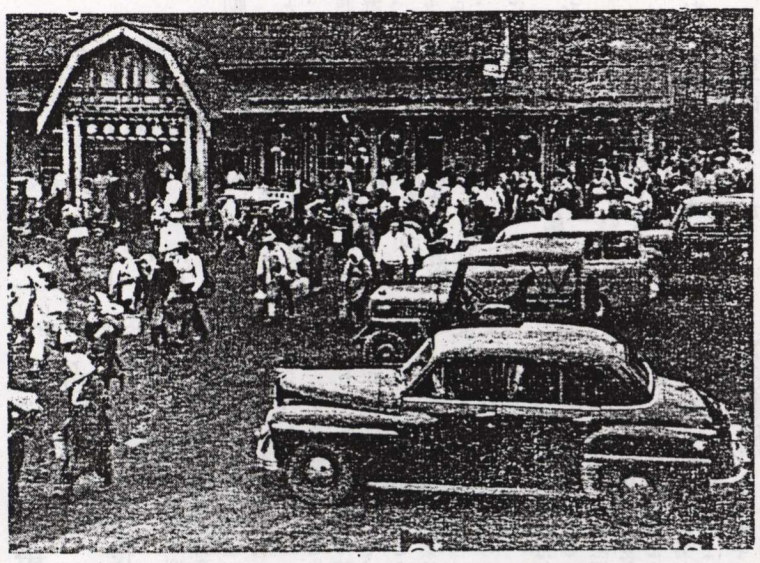
当時道内では三十七年に小樽―函館、同四十年に旭川―釧路間の鉄道が相次いで開通、留萌―深川間の鉄道は三年後の四十三年十一月に開通、留萌停車場が建設されました。

時あたかも日本では前年伊藤博文が暗殺され、四十三年には日英大博覧会が開かれ、韓国との合併、そして大逆事件とあわただしい明治末期でした。

この開通は、留萌港の完成と相前後して留萌地区開発の原動力となつて長足の進歩をもたらす結果となつたのです。

現在は広大な留萌地域の中心地として、又上川を始めとする道北地帯と貿易港留萌を結ぶ重要な動脈となつて、三十三年度貨物取扱量は全国で二十五番目に数えられています。

本年はデイーゼル車の導入による完全な貨客分離と輸送のスピードアップ、更に近い将来には駅舎の改築駅前広場の拡張、輸送能力の強化など着々と実現されて行くことでしょう。



寫眞說明

右上＝旧留萌川を利用した昔の留萌港

右下＝貨物船で賑わう最近の留萌港

上＝乘降客で賑わう留萌驛

三日から（四カ月分）支給

早めに郵便局へ

待ちこがれていた国民年金が、いよいよ三月三日から、支給されます。

これは昨年九月から受付けが進められていた国民年金のうち、老令、母子、障害の三福祉年金です。

支給は、桃の節句の三日から、全国一斉に各郵便局窓口で行われますが、既に市福祉事務所で手続きを終え、年金証書を受取つた人達に、九月からにさかのぼつた年金が二月までの四カ月分として

お年寄りには
老令福祉年金　四千円
母子家庭には
母子福祉年金　四千円
（第二子以降は一人当り八百円を加算）
身体障害者には
障害福祉年金　六千円

が、それぞれ指定された郵便局の窓口で支給されます

なお市福祉事務所調べによりますと、推定該当者七百八十一名のうち、既に年金証書を受取つた人は、老令福祉年金三百八十六名、母子福祉年金二十六名、障害福祉年金二十八名の計四百四十名（二月十五日現在）います。

まだ手続きをされていない人は一日も早く手続を終えて下さい。

―國民年金

これだけは守ろう

交通事故を防ぐために

「他人ごとではない」と言う言葉がありますが、この言葉ほどいまの交通事故を適切に表現しているものはありません。

「自分でなくてよかつた」との安心は禁物です。一歩家を出ると、近ごろの激しい交通事故に直面「他人ごと」ではなくなつているのです。

しかし安全な方法があります。それは誰もがいますぐ実行できる、交通規則をよく知つて守ることです。

⊙歩く人の交通手びき

道路を通るときは道路交通取締法という法律があつて、歩く人の区分がきまつています。

この法律の区分を守らないため、自動車にひかれたり怪我をした人がたくさんあります。

法律できめてあることは次の通りです。

正しい交通をして怪我をしないように気をつけましよう。

一、歩道と車道の区別のある道路は歩道を通ること

二、歩道と車道の区別のない道路は右側を通ること

三、人は車のすぐ前や後を横切つて通らないこと。

四、人は道路を斜めに横切らないこと。

五、道路で児童（六才以上満十三才未満）や幼児（六才未満）を保護する責任あるものが道路であそばせたり、監護者が付き添わないで幼児を歩行させないこと。

六、進行中の自動車やそりに飛乘つたり、そとがわにつかまつたりしないこと。

⊙馬車追さんの交通規則

馬車追さんが守らなければならない交通規則は次の通りです。違反すれば三千円以下の罰金に処せられます。

一、ぎよ者台の設備のない荷馬車（馬そりを除く）に乘車して操縦しないこと。

二、市街地の坂路においては、制動装置のない荷馬車（馬そりを除く）を操縦しないこと。

三、鈴その他警音装置の設備のない荷馬車を操縦しないこと。

四、四輪荷馬車は車両重量と合わせ五千キログラム以上の積載をしないこと

五、二輪荷馬車は車両重量と合わせ三千五百キログラム以上の積載をしてはならない。

笹島さん（30年）ら知事表彰

統計事務功労者

長い間統計事務にたずさわつていた人達が、北海道統計事務功労者として知事表彰されることになりましたが、留萌市からも次の十九名の方々が表彰状と記念品を授与されます。

市では後日あらためて期日を決め、表彰状の伝達式を行う予定です。

○五年級（十一名）
大村富雄（五十嵐町）国崎政昭（藤山町）金沢煕（港町）田中政昭（藤山町）谷垣隆一（豊平町）長谷部栄吉（沖見町）村山勝（藤山町）森和芳（立花町）渡辺七郎（宮園町）山田武（藤山町）

○十年級（四名）
竹沢武雄（尊真布町）田辺忠興（幸町）丸瀬一男（大和田町）三浦安太郎（幌糠町）

○十五年級（一名）
斎藤道高（港町）

○二十年級（一名）
大岩清一（立花町）

○二十五年級（一名）
柏葉運之助（三泊町）

○三十年級（一名）
笹島好一（藤山町）

明るい生活

胃ガン治療に偉力

國保両病院に新鋭機

—ガストロ・カメラ—

あなたの胃袋の中が、カラー（天然色）写真で写すカメラが留萌市国保両病院にお目見えしました。これが今医学界でも話題となつている「ガストロ・カメラ」です。

科学の偉力はめざましくこの一年間、胃ガンの発見は レントゲンで行われていましたが、患者が口をそろえて言う「ガリュウムをのむ苦しみ」と、レントゲンでは早期発見がむずかしいと言う難題が解決され、恐れられていた胃ガン治療も、一歩前進して「明るい市民生活」が訪れたと言えましよう。

ガストロ・カメラは、一基二十五万円、日本製ですが、留萌市国保の東、西両病院にそれぞれ一基づゝ備えつけられました。

勿論留萌地方では、この二基あるだけで、市民の生活はもとより、広く留萌地域住民の医療センターとして、一段と内容の充実がはかられるわけです。

カメラと言つても、アマチュアカメラマンが肩に持つて歩くのとは違い、レンズの部分とビニール製の長い管、それにシャッターなどの操作部の三部分から出来ています。

ちようど国保西病院で初めてこのカメラを使うのを見学させてもらいました。

この日の患者は、レントゲンの精密検査の上〃胃ガン〃の疑いで手術をしたのですが、切り開いた結果、ガン症状が見られなかつたためそのまゝ切りとらずに終りました。

しかしまだその疑いが深いと言うので、胃の状況を調べるため行われたのです咽喉部に麻酔をかけた後、ベットに横たわつた患者の開いた口に、消毒されたカメラの長い管が、スルスルと胃の中へ入つて行きます

入れる間、医師は何度も「苦しいか、苦しければ知らせなさい」と患者に問いかけますが、患者の答はいつも「苦しくありません」と苦しさは少しも見られません。

ビニール製なので自由に曲る人差指位いの管が胃の中に入つたところで、撮影が行われます。

管の先に、一ッ目小僧のように眼を開いた小さなレンズは、管の上、丁度患者の口の外側に出ている約十センチばかりの箱型の操作部で管の先を縦横に動かしながら、シャッターボタンを押しますと、これもレンズの一寸上に仕込まれた豆ランプが〃パッ〃と点灯すると同時に巾六ミリの天然色フイルムに一枚づゝ胃の内部が写つて行くわけです

大豆くらいの大きさに巻かれた二十六枚のフイルムには、こうして胃の内部が全部、天然色に写し出されて行く。

勿論フイルムの巻きあげも、口の外に出ている操作部で行われます。

この時間僅ずか二十分程度で、なれるとまだ時間を短縮されるとのことでした。

これで胃の疾患、特に最近の病気で最も大きい課題とされている胃ガンの早期発見による早期治療に一大偉力を発揮するものと期待がかけられています。

あなたの胃袋がそのまゝ写し出され、これがガンの早期発見と治療に一大偉力を発揮するものと大きな期待がかけられています。

今月は、話題のガストロ・カメラを紹介しましよう。

写真はカメラで胃ガンの診察

學卒者に職場を

入選作決まる

ねずみ駆除運動

就職シーズンがやつて来ました。

留萌市内で、本春学校を卒業する生徒のうち、就職を希望しているのは

中学生　二百二十七名
高校生　百二十名
合　計　三百四十七名

にのぼります。

このうち既に就職先が決まつたのは僅ずか

中学生　四十八名
高校生　二十七名
合　計　七十五名

です。

最近は就職したくとも、職がなく、なかには夢をなくして悪の道へ走る子供達も出るなどの社会問題も見られます。

本年こそは、これら全部の就職希望者に「職場」そして「夢」と「希望」を与えたいものです。

ねずみ駆除運動の一環として、小、中学校の児童、生徒から募集していた標語作文を、市教委、後藤指導主事に依頼、選考の結果、多数の応募者（作文三十九名、標語四十名）の中から次の作品がそれぞれ入選、市から記念品を贈ることになりました。

なお作文の一位入選作を別に掲載しました。

○作　文

一位「ねずみ」
留小一年　さわだゆきお

二位「ねずみとり」
礼受小　さとう正人

三位「ねずみ」
留小五年　青石久美子

佳作　三十六名

○標　語

一位
「チュー」となく
声なくなつてよい社会
留小五年　佐藤　一夫

二位
一匹もねずみ残すな各家庭
留小五年　綱淵　輝幸

三位
ねずみたいじて
ゆたかな町を
三泊小五年　本間恵美子

佳作　三十七名

第一位作文

ねずみ

市立留萌小學校一年三組
さわだゆきお

ぼくのうちでは、ねこがいないとき、ねずみがたくさんいたので、ぼくと、かあさんと、おおつかさんからねこをもらつてきました。それからねずみがいなくなりました。

それでも、たわらにいもをいれて、ものおきにおいたら、かあさんが、いもをとりにいくと、ねずみのかじつたいもが、二つも、三つも、すみつこにおちているから、かあさんが「きつとねずみだなあ」といいました。

だんだん、いもがなくなつだから、かあさんが、たわらをもちあげると、大きなあながあいていて、いもがころころとところがつておちました。

ねずみがくつたと、かあいもがおちていました。

「ねこがいてもねずみをとらないから、ねずみがでてくるんだね。」とぼくがいつたら、かあさんが「ねずみをとらないねこは、ひまをだしてやるか」とぼくにいいました。ぼくは、かわいそうだからなげないといいました。

どうしてとらないかかあさんにきいたら「きつとせまいところなので、ねこがはいつていかれないんだよ」といいました。

どうしたらとれるんだろうとかんがえました。でもわかりませんでした。

きのう、せんせいにはなしたら「ねこいらずというくすりを、まきのあいだにおいておくといいよ。」とおしえてくれました。かあさんにおしえてやろうとおもいました。

（原文のまゝ）

☆　☆

婦人團体巡回講座

5日　港北婦人会
6日　東光婦人会

婦人活動の進め方について学習する、第一回市内婦人団体巡回講座が、市公民館の主催で、六日まで行われています。

これは市内にある各婦人団体を巡回し、婦人団体の運営や、課題解決のための学習要領などを指導するもので、初めて計画されたものです。

既に二月中には中幌糠、礼受、三泊、浜中の各婦人会が終りましたが、三月は五日　港北婦人会、六日　東光婦人会の日程で、いずれも午後一時から行われます。

廣報〝るもい〟を保存しよう

広報「るもい」は市内全戸に配布しておりますが、市政の正しい姿とお知らせを内容として掲載市民生活の指針にしたいと考えています。

市政に疑問を持つたとき市のお知らせを記憶忘れしたときなど、広報「るもい」をめくつて見て下さい。

そのため毎月配達される広報「るもい」を綴り家庭内の見やすい所に保存しておきましよう。

編集後記

○きようからは〝弥生〟三月、北国の春は手をのばすと届くほどもうすぐです

三日の桃の節句を過ぎると二十日は春分の日、本当に三月のこよみをめくる度に春めいて来ることでしよう。

濯ぎ女の掌のひらひらと
春の水　幻花

○こうした時に、明るい話題に埋まつた広報「るもい」を、みなさんのお手元に届けることが出来、編集子としても、いま編集し終えてなにかしら心にほのぼのとしたものを覚えます。

人類最後の敵とさえ言われるガン：特に胃ガンの早期発見と治療に偉力が期待される話題のガストロ・カメラが東、西両国保病院に備えられたこと、又一つに留萌港起工と鉄道（留萌線）開通五十周年の記念すべき年を迎えたことであります。

○：読みやすい紙面と言う点から、本月号ではお知らせ欄を作つてみました。

いままでのように捜がし出すわずらわしさが解消されましたが、紙面全体の体裁があるいは幾分そがれたかも知れません。

おことわり

市勢回顧表は、紙面の都合で休載しました。

お知らせ

固定資産課税台帳の縦覧

一日から公民館

市では昭和三十五年度分として評価した固定資産（土地、家屋、償却資産）課税台帳の縦覧を、三月一日から行います。

本年度は地方税法で決められた評価基準年度の第三年目にあたりますので、土地、家屋で地目の変こうあるいは家屋の増、改築等の異動のないものの価格は前年通り（三十四年度の評価額）であります。

ただし償却資産は毎年減価償却や法人税法あるいは所得税法に基づく帳簿価格が変つたり、品目の変動があるので当然変わります。

昨年中に家屋を新築された方には、既にハガキで縦覧の通知を差上げましたがそれ以外の関係者も多数縦覧されるよう望んでいます

なお縦覧期間は、法で二十日までと決められていますが、日曜日とかちあうので、二十一日迄延長しました。

一、期間
三月一日から三月二十一日まで
毎日午前九時三十分から午後四時三十分まで

二、場所
公民館（港町三丁目）

わからないことは市税務課に連絡して下さい。

（税務課）

〝螢の光……〟

各校の卒業式

市内各小、中学校の卒業式が、三月十四日の港南中学校を皮切りに、次の日程で行われます。

本春学窓を巣立つ生徒は小学校九百九十九名（男四百九十三名、女五百六名）中学校六百八十一名（男三百四十名、女三百四十一名）です。

各学校とも、それぞれの想い出を残し、昔も今も変わらぬ〃蛍の光……〃に送られて盛大な卒業式が行われることでしよう。

日程は次の通り

留萌中	十五日
港南中	十四日
幌糠中	十六日
増真布中	十八日
留萌小	二十日
東光小	二十日
緑丘小	二十二日
港北小	二十日
礼受小	二十日
三泊小	二十日
潮静小	十九日
藤山小	二十日
幌糠小	二十三日
中幌糠小	二十一日
増真布小	十八日
峠下小	二十一日
豊平小	二十日

商業スライドの希望者へ

市の商業振興のため、購入した商業教育カラー・スライドが届きました希望者はご利用下さい。

全部で二十四巻そろえることになつておりますが、現在「店舗の立地」「仕入計画」「商店照明」の三巻を貸出しています。貸出料は無料です。（商工係）

灰捨てを注意して

市内約八十カ所に共同灰じん箱を置いていますが、利用状況は必らずしも良くありません。

取扱いには次の点を注意して下さい。

○灰じんは火気がなくなつたことを充分確めてから捨てて下さい。

○灰を捨てるときは、水をかけて下さい。

風で飛ぶこともなく、火災の上からも安全、しかも通行人にも迷惑をかけません。

○灰じん以外のごみは、処理が困難なだけでなく火事の原因ともなりますから捨てないで下さい。

○灰を道路に捨てたり、箱の中に完全に捨てない方がありますが、融雪を遅らせるばかりでなく、交通にも支障があり、街の美観上からも好ましくありません。絶対に止めて下さい。

（厚生課清掃係）

ハカリの無料貸出し

商工係では、希望のご家庭に、ハカリを無料で貸出しております。

家庭の台所をあづかる主婦の方々、あなたの家の消費生活は合理的に行われておりますか

食料品のお買いものが、はたして目方どうりありましたか。毎日食べるものが大ざつぱに、目分量で行われていることはありませんか。

一度ハカリを借り、台所に備えつけ、とにかくはかつてみましよう。いままで気づかない無駄を発見して驚くことでしよう。

商工係では「台ハカリ」二台を備えつけております希望者には、一人十日間の期間、無料で貸出しております。申込み下さい。

（商工係）

引揚者國庫債券の買上げ

四月から

引揚者国庫債券を担保にした生業資金の貸付け、生活困窮家庭を対象にした債券の買上げは枠を全部消化しましたので、本年度は受付けをしていません。

四月からは又新年度分の受付けを始める予定です。

（福祉事務所社會係）

三月も續けて時間給水

火の元に注意を

二月末で終える予定でありました上水道の時間給水は、続いて三月三十一日まで全市にわたつて行います

これは冬季に入つて水源地が渇水期になつたため、続けて行うものですが、給水時間、地域は従前通りです。

各家庭とも節水にご協力下さると共に、火の元にも充分ご注意下さい。

（水道課）